

経営改善及び連携・活用に関する取組評価

(平成30(2018)年度)

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
-----------------	------------------	------------	-------------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

本市施策における法人の役割

市の緑地等に関する事業及び民有地の緑化に関する事業の推進に協力し、公園緑地の円滑な運営及び健全な利用の促進並びに市民の緑化意識の向上を図ることによって緑豊かな潤いと安らぎのあるまちづくりに寄与するとともに、ボランティアセンターとしての機能を付加することで、市民活動拠点として充実させること

- ・緑のボランティア育成及び持続的な活動の支援
- ・民有地に対する助成事業を行い、緑の保全、緑化の推進及び緑化意識の向上
- ・公園緑地施設等の管理運営

法人の取組と関連する計画	市総合計画と連携する計画等	基本政策	施策
		市民生活を豊かにする環境づくり	協働の取組による緑の創出と育成
	分野別計画	川崎市緑の基本計画	

4カ年計画の目標

緑の保全と緑豊かな街づくりの推進及び公園緑地の円滑な運営を通して市民に健全な利用の促進を図り、潤いと安らぎのある街づくりを行うことによって、地域社会の健全な発展に寄与するという公園緑地協会の目的を達成するため、「緑の街づくりの推進及び普及啓発に関する事業」「公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業」「収益事業」の3つを柱に、川崎市の緑の保全と緑豊かな街づくりを推進し、法人を市民等の緑の活動支援や育成、普及啓発のためのボランティアセンターとしての機能を有する緑の拠点として位置づけ、緑に関する事業運営を推進拡充していきます。

2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度 (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	緑化推進・普及啓発事業	広報出稿等回数	回	241	243	228	c	D	II
		記念樹配布本数	本	1,126	1,140	1,079	c		
		事業別の行政サービスコスト	千円	50,573	50,500	50,541	2)	(3)	
②	緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)	各種講座受講者満足度	%	90	92	93	a	A	I
		各種講座受講者数	名	3,866	3,870	4,071	a		
		事業別の行政サービスコスト	千円	61,305	61,300	63,134	2)	(2)	
③	公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業	各種イベント等実施回数	回	36	36	43	a	B	I
		ばら苑来苑者数	人	75,112	95,200	86,867	b		
		事業別の行政サービスコスト	千円	238,681	209,000	195,964	1)	(1)	

3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	経費の削減	一般管理費	千円	23,673	23,500	22,699	a	A	I

4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (平成30 (2018)年度)	実績値 (平成30 (2018)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	人事給与制度の改革	役員報酬、正規職員給与	千円	88,227	87,000	87,770	b	C	II
②	コンプライアンスの徹底	コンプライアンスに反する事案の発生件数	件	0	0	0	a	A	I

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【 I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

本市による総括

各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

緑のボランティア事業、公園緑地の運営及び健全な利用促進事業などについては、概ね目標を達成し、緑豊かな潤いと安らぎのあるまちづくりに寄与しており、本市が求める役割を果たしていますが、緑化推進・普及啓発事業については、目標未達成であり、広報面で課題があります。

緑化推進・普及啓発事業については、川崎市の緑の魅力を発掘し、あらゆる広報媒体を活用し、出稿回数が増だけでなく、情報発信の質の向上を図ることにより、市民の緑化意識を高めるとともに、多様な主体をつなぐ機会の創出を期待します。

緑のボランティア事業については、重要な取組なので、引き続き緑のボランティアセンターとしての強みを活かし、次世代の緑のパートナーの核となる子どもたちを対象とした新たな企画や、緑の人材バンクの活用など、緑の活動の担い手となる人材育成の積極的な取組を期待します。

公園緑地の運営及び健全な利用促進事業については、適正な管理運営を維持するとともに、さらに魅力あるイベントの実施により、公園の魅力向上、賑わい創出に寄与することを期待します。

経営健全化、業務・組織に関する取組についても、事業の効率化、経費削減を図るとともに、持続的な事業執行体制について検討し、経営の安定化に向けた取組を期待します。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

2. 本市施策推進に向けた事業取組①(平成30(2018)年度)

事業名	緑化推進・普及啓発事業
計 画 (Plan)	
指標	①広報出稿等回数、②記念樹配布本数
現状	緑化推進・普及啓発事業等を広報する媒体として広報誌・チラシ・パンフレット等の発行からホームページの活用まで幅広い広報活動を展開
行動計画	広報誌・チラシ・パンフレット・タウン紙等の紙媒体からホームページなどの電子媒体を幅広く活用し、広く市民に緑化の推進・普及啓発事業等を周知していく。更にフェイスブック等を活用し、リアルタイムに情報を提供、周知できるよう努めます。
具体的な取組内容	平成30年度は、緑化推進・普及啓発活動を広報する媒体、とくにホームページの充実を図りフェイスブックの活用によりリアルタイムな情報発信を行い市民の緑化意識の向上に努め目標達成に繋げていきます。

実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 公益目的事業である緑化推進・支援事業等の広報にあたって、広報誌、チラシ、パンフレット、タウン紙等の紙媒体及びホームページ等の電子媒体などの幅広い媒体を活用し、特にフェイスブックの内容を充実させ、リアルタイムの情報提供、周知を実施し、広く市民の緑化意識の向上、普及啓発の推進を行いました。前年度実績と比べ、ホームページ更新回数がやや減少しました。
	【指標2関連】 公益目的事業である緑の普及啓発事業の「思い出記念樹」をPRする上で、チラシ等にQRコードを活用し、記念樹として配布できる16種類の苗木の写真と説明書が見られる環境を整備し、周知を行いました。前年度実績と比べ、記念樹配布本数はやや減少しました。
	【その他】

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	広報出稿等回数	目標値	241	243	245	248	250	回
	説明 広報誌・ホームページ等による緑化推進・普及啓発事業等の広報活動を展開 ※個別設定値: 229 (現状値の95%)	実績値		228				
2	記念樹配布本数	目標値	1,126	1,140	1,150	1,160	1,170	本
	説明 出生、入学、結婚等の市民の思い出記念として、記念樹を贈呈	実績値		1,079				
指標1 に対する達成度		C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2 に対する達成度		C	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

広報出稿数は、紙媒体数の増加に加え、フェイスブックの内容等の充実を図りましたが、ホームページ更新数が減少し、目標達成はできませんでした。また、記念樹配布本数についても、チラシにQRコードを添付し苗木等を視覚で確認できるなど工夫を凝らしましたが、配布数の目標達成はできませんでした。今後も、広報手段として紙媒体の活用を図るとともに電子媒体の活用を増やし、リアルタイムに情報提供できる環境整備に努めます。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	D

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	50,573	50,500	50,300	50,100	50,000	千円
	説明 直接事業費ー直接自己収入	実績値		50,541				
行政サービスコストに対する達成度		2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

事業経費は削減したが、人件費コストが増加し目標は達成できませんでした。今後も限られた予算の中で、広報に関して紙媒体から電子媒体への活用など更に創意工夫を重ね、事業経費の見直しと削減に努め、円滑な事業運営に努めます。

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(3)

改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II 多様な主体の緑化意識向上のために必要な広報のあり方を検討し、あらゆる媒体を活用しながら、きめ細やかな情報提供に努め、具体的にはホームページ、フェイスブックの回数を増やすとともに、記念樹配布に関するチラシの配布対象、配布場所の見直しなどによる効果的な情報発信を行うことにより、目標を達成できるよう取り組みます。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

本市施策推進に向けた事業取組②(平成30(2018)年度)	
事業名	緑のボランティア事業(緑のボランティアセンター運営事業)
計 画 (Plan)	
指標	①各種講座受講者満足度 ②各種講座受講者数
現状	緑のボランティア活動団体の育成を図るため、応募方式等による各種講座・出前講座を開催するとともに、緑のボランティア活動に対する支援事業を展開し、緑化意識の向上を図っています。
行動計画	緑のボランティア育成と活動支援を目的とした各種講座・出前講座等を開催し、受講者数を増やすとともに、受講者の満足度を高めていきます。
具体的な取組内容	平成30年度も引き続き緑のボランティアの育成と活用そして支援事業の充実を図ります。各種講座・イベント等の事業も充実させ、緑化推進リーダーの育成に努めてまいります。各種講座の修了生を協会人材バンクに登録いただき、協会が開催するイベント・花と緑の相談員、出前講座などにボランティアリーダーとして派遣し、公園緑地等を中心とした市民協働による地域コミュニティの形成を図ります。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 緑のボランティア育成と活動支援を目的とした各種講座・出前講座を開催し、内容の充実を図るとともに、講座のファシリテーターやテキストの監修等をボランティアと協働で行い、市民協働による運営を行うことにより、受講者満足度の向上に努めました。
	【指標2関連】 各種講座受講者数の増加を図るため、講座の内容を充実させるとともに、川崎のみどりを守り、育て、未来へ継続して行くために、子どもや親子を対象とした新たな講座の企画を行いました。 また、出前講座など各地域の住民を対象とした講座には、人材バンクに登録をしているみどりのボランティアをボランティアリーダーとして派遣し、市民協働で講座を実施することにより、受講者数の増加を図りました。
	【その他】

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	各種講座受講者満足度	目標値	90	92	94	96	98	%
	説明 受講者アンケートにおいて、「満足」と回答のあった割合	実績値		93				
2	各種講座受講者数	目標値	3,866	3,870	3,880	3,890	3,900	名
	説明 緑のボランティア育成・支援を目的に行う各種講座等の受講者数 ※個別設定値: 3,783(過去の平均値)	実績値		4,071				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	a	

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

今後も各種講座の内容を充実するとともに、子どもからお年寄りまでみんなで川崎のみどりを守り育て、緑のボランティアの育成・支援に努め、市民協働による地域コミュニティの形成を図ってまいります。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	61,305	61,300	61,200	61,100	61,000	千円
	説明 直接事業費－直接自己収入	実績値		63,134				

行政サービスコストに対する達成度	2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上
------------------	----	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

緑の活動団体助成申請件数が増えた(8件)ことによる助成金支出の増や、子どもや親子を対象とした新たな講座の企画等によりコストが増加し、目標の達成はできませんでしたが、今後も事業経費の見直しと削減を図り、適正な事業運営に努めてまいります。

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(2)	(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

本市施策推進に向けた事業取組③(平成30(2018)年度)	
事業名	公園緑地の運営及び健全な利用促進に関する事業
計 画 (Plan)	
指標	①各種イベント等実施回数、②ばら苑来苑者数
現状	収益事業(売店・自動販売機・駐車場)を財源として、独自に展開している各種イベント(自主事業)をはじめ、公園内運動施設、生田緑地ばら苑等の受託運営管理事業を行っています。
行動計画	収益事業の収益額を財源としている各種イベントの実施回数を4年間で10%増加させる目標を設定し、ばら苑でのイベント等の実施を増やしばら苑の来苑者数を増加させます。
具体的な取組内容	平成30年度は収益事業を拡充し収益確保に努め自主事業の財源に繋げていく。とくにばら苑では川崎市と協働によるイベントの開催やばら講習会、ボランティアガイドの実施などを充実させ施設PRと来苑者増加に努めます。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 自主事業として公園緑地や施設利用促進を目的とした様々なイベントについて内容の充実を図るとともに、実施回数を増やし、参加した市民の方々に親しんでいただきました。 春と秋のばら苑一般開放において、野外ライブコンサート、写真展、来苑者向け講習会、ボランティアガイドツアーを実施し、特にボランティアガイドについては平成30年度から新たに養成講座の実施などにより、イベント内容の充実を図りました。
	【指標2関連】 ばら苑については、秋の一般開放前の台風被害もありましたが、ボランティアとともにバラの育成管理を適正に行い、各種イベント内容の充実を図りながら、来苑者サービスの向上に努めました。
	【その他】

評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	各種イベント等実施回数	目標値	36	36	37	38	39	回
	説明 サッカーフェスタ、風揚げ大会、釣り教室、ばら苑コンサートなどの実施回数 ※個別設定値:34(現状値の95%)	実績値		43				
2	ばら苑来苑者数	目標値	75,112	95,200	96,000	98,000	100,000	人
	説明 生田緑地ばら苑における春・秋の一般開放の来苑者数	実績値		86,867				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満
指標2 に対する達成度	b	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

ばら苑の来苑者数は、平成26年度～平成28年度の平均が過去最高の10万人を突破しましたが、平成29年度・30年度は、天候に恵まれず平均で8万人という結果になりました。しかしホームページ等広報の充実とともに、イベント内容の充実及び実施回数を増やすことにより、目標値の90%を上回ることができました。

本市による評価	区分	区分選択の理由
	達成状況	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	238,681	209,000	208,000	207,000	206,000	千円
	説明 直接事業費－直接自己収入	実績値		195,964				

行政サービスコストに対する達成度	1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が120%以上
------------------	----	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

公園緑地施設運営事業の一部縮小により、結果的に行政サービスコストが削減されました。

本市による評価	区分	区分選択の理由
	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコスト」に対する達成度等を踏まえ評価)	(1)

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

3. 経営健全化に向けた取組①(平成30(2018)年度)

項目名	経費の削減
計 画 (Plan)	
指標	一般管理費
現状	平成25年度公益財団法人への移行に伴い、平成26年度以降組織再編と人件費、事業経費削減を図り、平成29年度も継続して事業の見直しと人員配置変更等を行い、法人運営費にあたる一般管理費の見直しを行っています。
行動計画	光熱水費、消耗品、物件のリース等について、日常の業務見直し、一括発注などにより、一般管理費の経費削減を図ります。
具体的な取組内容	光熱水費、消耗品費、リース等賃借料、委託費、負担金、交際費などに関する日常業務の見直しを図り、一括発注などにより、一般管理費の経費削減を図ります。

実施結果 (Do)

経営健全化に向けた活動実績	【指標1関連】 一般管理費である事務所経費のうち光熱水費、消耗品費、リース等賃借料、委託費、負担金、交際費などについて日常業務の見直しを図り、文房具・トイレトーパー等の一括発注や、事務所機械警備委託の複数年契約などにより、経費の削減を行いました。
	【その他】

評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	一般管理費	目標値	/	23,500	23,000	22,500	22,000	千円
	説明 一般管理費の経費総額 ※個別設定値:24,857(現状値の105%)	実績値	23,673	22,699				
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

今後も各経費の見直しと無駄を省き、経費削減に努めてまいります。



区分	区分選択の理由
達成状況 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A 日常業務を見直し、経費削減を図った結果、成果指標である「一般管理費」は22,699千円となり、目標を達成できたため。

改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止 今後も継続的に経費の見直しを行い、削減に努めます。

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

4. 業務・組織に関する取組①(平成30(2018)年度)

項目名	人事給与制度改革
計 画 (Plan)	
指標	役員報酬、正規職員給与
現状	平成25年度公益財団法人への移行とゴルフ事業からの撤退に伴い組織再編を継続し人事給与の見直しを行い、役員報酬及びプロバ職員給与月額を減額しています。
行動計画	今後も継続して経営、財政の安定化を図り、人件費削減に努めます。
具体的な取組内容	継続して経営、財政の安定化を図り、人件費削減に努めます。



実施結果 (Do)	
業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 正規職員の月額基本給一律5%削減、理事長の月額報酬40%、専務理事月額報酬20%の削減を行いました。
	【その他】



評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	役員報酬、正規職員給与	目標値	88,227	87,000	87,000	87,000	63,000	千円
	説明 役員報酬・正規職員給与経費	実績値		87,770				
指標1 に対する達成度		b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
正規職員月額基本給一律5%削減、理事長月額報酬40%削減、専務理事月額報酬20%削減を行いました。正規職員定期昇給に係る賞与、退職給付引当金等のコストが増えたことにより、現状値を下回ったものの、目標設定数値を達成することはできませんでした。								

本市による評価

達成状況

- 区分
- A. 目標を達成した
 - B. ほぼ目標を達成した
 - C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった
 - D. 現状を下回るものが多くあった
 - E. 現状を大幅に下回った

C

区分選択の理由

成果指標である「役員報酬、正規職員給与」は87,770千円となり、目標の87,000千円を達成することはできなかったものの、正規職員、理事長、専務理事の継続的な給与削減により、現状値を下回り、一定の効果が得られたため。

改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人名(団体名)	公益財団法人 川崎市公園緑地協会	所管課	建設緑政局緑政部みどりの企画管理課
----------	------------------	-----	-------------------

業務・組織に関する取組②(平成30(2018)年度)	
項目名	コンプライアンスの徹底
計 画 (Plan)	
指標	コンプライアンスに反する事案の発生件数
現状	コンプライアンスに関連する規則の倫理行動基準を遵守しています。
行動計画	引き続きコンプライアンスに関連する規則の倫理行動基準を遵守し、コンプライアンスに反する事案の発生を未然に防ぎます。
具体的な取組内容	関係法令、条例、や契約、仕様内容に基づく業務を実施し、事案が発生しないよう努めます。

実施結果 (Do)	
業務・組織に関する活動実績	【指標1関連】 職員全員にコンプライアンスの徹底を図るとともに、各職場に安全衛生推進者を配置し、各施設の作業安全管理に関するリスクアセスメント研修会等を実施しました。
	【その他】

評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値	/	0	0	0	0	件
	説明 事案が発生しないよう努める	実績値	0	0				
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

各職場に安全衛生推進者を配置するとともに、各施設管理において作業安全管理に関する研修会等を実施し、職員一人一人にリスクアセスメントの認識を高める取り組みを行いました。



区分	区分選択の理由
達成状況 A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A 適切な人員配置、研修会の実施などによるコンプライアンスの徹底を図った結果、成果指標である「コンプライアンスに反する事案の発生件数」は0件となり、目標を達成できたため。

改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止 今後も継続して職員研修を通してコンプライアンスの徹底を図り、事故等のない安全管理運営に努めてまいります。

